新たなステージへ！ にいがた２００１

新春対談

W杯いよいよ来年開催
市民と行政の力をひとつに

司会　W杯サッカー大会がいよいよ来年、開催されます。上山さんは、「ウェルカムにいがた！2002」の事務局長として大会に向ける思いも格別ですよね。

上山　W杯サッカーは、単独のスポーツでは世界最大の競技であり、ある意味ではオリンピックを超えた大会かも知れないですね。このようなものが新潟に来ることはすごいことですし、何とかして市民の力で成功させたいと考えています。

前回のフランス大会では決勝戦の前に競技場でイブ・サンローランのファッションショーが行われ、盛り上がったと聞き、これは単なるスポーツではなくて、ひとつの文化だという気がしました。

昨年、市民の力で大会を盛り上げようと「ウェルカムにいがた！2002」が発足し、イベントや事業企画など、いろいろなことを進めています。昨年暮れにシンボルマークを募集したところ、たくさん応募いただきその中からひとつを採用し、シンボルマークの入ったピンバッジやTシャツなどを作り市民に広めようとしています。わたしたちの活動やW杯サッカーの情報を市民に伝えていこうと情報誌も創刊しました。

また、今年6月がちょうど本番の1年前ですので、プレイベントも行おうと思っています。

W杯サッカー開催時には、参加国の情報提供やコンサートを開催するなど、まず、市民が楽しみ、そして国内をはじめ海外から来ていただきたいと考えています。大会が終わった後に、新潟が日韓のW杯サッカー開催地の中で、最も元気があり、最も楽しかったといわれるような大会になればと思っています。

司会　市の方も準備は着々と進んでいるようですね。

市長　県からはスタジアムの建設や周辺の整備などをしていただき、市でも、スタジアムへつながる道路の整備などを進めています。

新潟で開かれる最大規模の国際大会であり、たくさんの人々が世界中から来れることから、新潟の魅力を世界に発信するチャンスと考え、また、来ていただいた人を新潟の心でもてなし、歓迎しようと、市では「国際都市にいがた集都プラン」を策定し取り組みを始めています。

W杯の試合は、全試合が時間をずらして行われるらしいので、体育館などに大きなテレビジョンを置いてみんなで一緒に見て、楽しめるようにしようとか、また本市の魅力ある伝統文化を楽しんでもらうとか、白山地区を拠点にいろいろ考えています。

司会　国内最初の試合が新潟で行われるというのも楽しみのひとつですね。

竹林　選手や関係者、観戦にいらっしゃる多くの皆さんに、新潟で開催して良かった、また来てみたいと思っていただきたいですね。もてなしがとてもすてきだったと感じてもらえたら幸せです。

それには、関係者やボランティアだけでなく、市民一人ひとりが何らかの形で参加する心構えが大事ではないでしょうか。

また、大会が終わっても、大会を通して学んだ経験を生かしたり、施設なども有効に利用されたらいいですね。

もう一方で、地球環境の保全が非常に大切になる時代です。地球環境を大事にするということにみんなで力を合わせなければなりません。

新潟のまちづくりについていえば、緑が多く潤いとゆとりを持ったまちがふさわしいと考えており、今後も優しさと活力に満ちたまちづくりを目指していきます。

司会　21世紀という新たなステージに入りました。市の魅力市民の魅力であるというお話しがありましたように、皆さんとともにいろいろなことに積極的に参加していきたいと思います。

世界に誇れる新潟市、そして新潟市民であることを期待しています。

会場は燕喜館

新潟市長　長谷川義明

市長に就任して10年。自然と人間の居住空間とが調和したまちづくりを進めている。新潟が持つ豊かな自然や農地を生かした、既存の政令指定都市とは異なる「田園型政令指定都市」が新潟都市圏にふさわしい将来像と考えている。

上山　寛さん

来年、本市で開催されるワールドカップサッカー大会で本市を訪れる人たちへの歓迎イベントを企画・実施する市民の会「ウェルカムにいがた！2002」の事務局長を務める。
建築家であり上山アトリエを経営。

竹林　昭代さん

市名産会副会長を務め、市の観光PRや物産展などを全国的に展開する。
また、講演会の講師やシンポジウムのパネリストとして活躍中。
東京都三宅島出身。　竹林味噌醸造所代表取締役社長。

この新春対談は、1月3日新潟総合テレビ（NST）で放送した番組を要約したものです。
司会　菊野麻子アナウンサー

前回のW杯フランス大会のとき市内に設置した大型テレビジョンの前に集結し、声援を送ったサポーターたち（上）、完成間近の新潟スタジアム（ビッグスワン、下）

21世紀に求められる人
人の魅力がまちの魅力

司会　もてなしの心や各国の人たちとの交流の輪などを、これからの新潟市の発展につなげていきたいですね。

市長　そうですね。新潟の魅力を余すところなく、伝えていきたいですね。

市民の力が市の力であり、市民の持っている魅力が市の魅力だということをつくづく感じています。

司会　人の話が出ましたが、21世紀にはどんな人材が必要だとお考えですか。

上山　新潟市をはじめ最近まちづくりにかかわる人たちが増えてきています。そして、行政と民間が一緒になっていろいろなことを行うケースも増えてきています。「ウェルカムにいがた！2002」の活動も、結局は人づくりであり、その中から新しい人たちが育ってくれればと思います。

「新潟の魅力ってどんなとこですか」と新潟の人に聞くと、しばらく考えてからほとんどの人が「何もないところでしょうかね」と答えますが、宅島の出身ということですがいかがですか。

竹林　住んでみて、新潟のまちがとても好きになりました。それと、新潟の人はとても魅力的な人が多いですね。でも少し控えめな感じがします。

自分のいいところそしてこのまちの素晴らしさを再認識していただき、たくさんの人に伝えることが必要ではないでしょうか。

司会　竹林さんは東京都三世紀の抱負を伺いたいと思います。

上山　わたしは建築設計の仕事をしていますので、りゅーとぴあのような新しいものと伝統的なものを大切にしていきながら、市民がわくわくするような夢のある設計をしていけたらと思っています。

司会　最後に一言ずつ、21世紀に求められる人材などについてお話しください。

竹林　昔から和風という言葉があります。その「和」の持つ優しさ、おいしさ、温かさ、これらのよい文化を次の時代に語り継いでいきたいと思っています。

司会　市長はどんな抱負をお持ちですか。

市長　21世紀に入り、国際化がこれからもどんどん進みます。IT革命といわれるくらい、お茶の間と世界がつながる時代になってきました。さらに国際交流が盛んになってくるでしょう。

新潟市は日本海側ではオリンピックを超えた大会かも知れないですね。このようなものが新潟に来ることはすごいことですし、何とかして市民の力で成功させたいと考えています。

前回のフランス大会では決勝戦の前に競技場でイブ・サンローランのファッションショーが行われ、盛り上がったと聞き、これは単なるスポーツではなくて、ひとつの文化だという気がしました。

昨年、市民の力で大会を盛り上げようと「ウェルカムにいがた！2002」が発足し、イベントや事業企画など、いろいろなことを進めています。昨年暮れにシンボルマークを募集したところ、たくさん応募いただきその中からひとつを採用し、シンボルマークの入ったピンバッジやTシャツなどを作り市民に広めようとしています。わたしたちの活動やW杯サッカーの情報を市民に伝えていこうと情報誌も創刊しました。

また、今年6月がちょうど本番の1年前ですので、プレイベントも行おうと思っています。

W杯サッカー開催時には、参加国の情報提供やコンサートを開催するなど、まず、市民が楽しみ、そして国内をはじめ海外から来ていただきたいと考えています。大会が終わった後に、新潟が日韓のW杯サッカー開催地の中で、最も元気があり、最も楽しかったといわれるような大会になればと思っています。

司会　市の方も準備は着々と進んでいるようですね。

市長　県からはスタジアムの建設や周辺の整備などをしていただき、市でも、スタジアムへつながる道路の整備などを進めています。

新潟で開かれる最大規模の国際大会であり、たくさんの人々が世界中から来れることから、新潟の魅力を世界に発信するチャンスと考え、また、来ていただいた人を新潟の心でもてなし、歓迎しようと、市では「国際都市にいがた集都プラン」を策定し取り組みを始めています。

W杯の試合は、全試合が時間をずらして行われるらしいので、体育館などに大きなテレビジョンを置いてみんなで一緒に見て、楽しめるようにしようとか、また本市の魅力ある伝統文化を楽しんでもらうとか、白山地区を拠点にいろいろ考えています。

司会　国内最初の試合が新潟で行われるというのも楽しみのひとつですね。

竹林　選手や関係者、観戦にいらっしゃる多くの皆さんに、新潟で開催して良かった、また来てみたいと思っていただきたいですね。もてなしがとてもすてきだったと感じてもらえたら幸せです。

それには、関係者やボランティアだけでなく、市民一人ひとりが何らかの形で参加する心構えが大事ではないでしょうか。

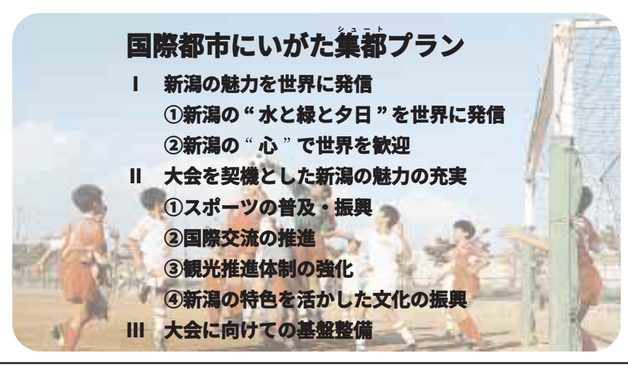
また、大会が終わっても、大会を通して学んだ経験を生かしたり、施設なども有効に利用されたらいいですね。

もう一方で、地球環境の保全が非常に大切になる時代です。地球環境を大事にするということにみんなで力を合わせなければなりません。

新潟のまちづくりについていえば、緑が多く潤いとゆとりを持ったまちがふさわしいと考えており、今後も優しさと活力に満ちたまちづくりを目指していきます。

司会　21世紀という新たなステージに入りました。市の魅力市民の魅力であるというお話しがありましたように、皆さんとともにいろいろなことに積極的に参加していきたいと思います。

世界に誇れる新潟市、そして新潟市民であることを期待しています。



国際都市にいがた集都（しゅうと）プラン

Ⅰ　新潟の魅力を世界に発信
　①新潟の“水と緑と夕日”を世界に発信
　②新潟の“心”で世界を歓迎
Ⅱ　大会を契機とした新潟の魅力の充実
　①スポーツの普及・振興
　②国際交流の推進
　③観光推進体制の強化
　④新潟の特色を活かした文化の振興
Ⅲ　大会に向けての基盤整備

やすらぎ堤に咲くチューリップや桜は道行く人を和ませてくれる（上）、本市のシンボル万代橋（左下）、りゅーとぴあの夜景（右下）

優しさと活力あるまち
緑・潤い・ゆとり

子どもたちの元気が21世紀の原動力に

黒埼地区から新潟市を望む

合併で始まった新世紀
まち全体で魅力を発揮

司会　きょうは、ますます発展が期待される21世紀の新潟市についてお話を伺っていきます。黒埼町との合併を終えた今のお気持ちはいかがでしょうか。

市長　関係者の皆さんのご理解とご協力があったおかげで、このような大事業が21世紀の冒頭にできたものと、大変うれしく思っています。

新潟市は、これまで合併を繰り返して今の姿があります。合併したところに、例えば大学や空港などいろいろな都市機能ができて、全体として新潟の魅力をつくっているんですね。

黒埼地区の皆さんとも力を合わせて、21世紀の新しい新潟のまち全体が、魅力を発揮できるようなまちづくりを進めていきたいと思っています。

司会　おふたりの感想は…。

竹林　黒埼には黒埼茶豆があります。全国に誇れるものが新潟市の名産品に加わったことは、新潟市の食のイメージアップにもなりますよね。

上山　新潟市と黒埼町のそれぞれのよいところを学び合って、よいまちをつくってもらいたいと思います。

黒埼地区の人にとって市長がより身近な存在に感じられるようなまちになっていただきたいですね。

市長　まちが大きくなっても、なるべく出向き、市民と直接対話することを心掛け、多くの市民の皆さんと触れ合いを持ちながら市政を運営していきたいと思っています。

新潟独自の将来像
田園型政令指定都市に向けて

司会　新潟市は日本海側で初めて50万都市となりました。これから政令指定都市を目指すということを伺っておりますが…。

市長　政令指定都市とは、県と同じような行政権限が与えられます。財政力、行政力がそれぞれ増すことにより、市民の皆さんのより身近なところで政策を決定し、実施できるようになります。

自動車交通が発達し、生活圏域はますます一体化が進んできています。一体化の進んでいるまちがひとつになれば政令指定都市への可能性が出てきます。

新潟の場合は田園型政令指定都市というビジョンを持ちながら、進めていったらいいと思っています。

司会　田園型政令指定都市とは、具体的にはどのような都市像なのでしょうか。

市長　新潟は広大な農業地帯を抱え、国内でも有数のコシヒカリの産地ですし、野菜や果物もたくさん生産されています。

ビルが林立するような大都市とは違ったイメージで、大自然と人間の居住空間が共存するという田園型の政令指定都市を目指そうということなんです。

竹林　田園型都市構想というのはとてもほのぼのとした住みやすいまちといった印象を受けます。

新潟は田園だけでなく、水ともとても関係が深いですよね。市内の真ん中を日本一の大河「信濃川」が流れ、新潟市のシンボル「万代橋」が架かっています。

春は桜とチューリップを愛で、夏は水の都にふさわしい流れを楽しみ、秋は桜の葉の紅葉を眺め、冬は雪の万代橋と、四季を通じてとても素晴らしい景観だと思います。建設の進む万代橋下流橋（仮称）も近代的な美しい橋だと聞いています。

上山　シドニーオリンピックのとき、まちの風景の中でシドニーのオペラハウスをよく目にしました。

佐渡汽船などの船が港に入るときや、まちに向かう乗り物の中から、シドニーのような風景を目にできたらいいなと思っていたところ、「りゅーとぴあ」ができました。新潟では初めての近代的な建築ではないでしょうか。夕暮れどきに昭和大橋を渡ると、ライトアップされたりゅーとぴあが進みました。北陸道は全線川面に映り素晴らしい風景だなと思います。

白山公園は、新しいものと古いもの、伝統的なものがミックスされた素晴らしい公園になったと思います。

そういった意味では、昔新潟にあった堀割が再生されたらいいですね。

市長　万代島にも、言うならばランドマークといえるような超高層の新潟国際コンベンションセンター（仮称）ができます。これも信濃川沿いですので、また新潟のまちが美しく変わるなと期待が持てますね。ほかにも、W杯サッカー大会の会場となる新潟スタジアム周辺の景色も素晴らしいものになるでしょう。

司会　ほかにもいろいろ整備されてきていますね。

市長　空港は2500の滑走路が出来上がり、港湾もマイナス14という深い港への整備が進んでいます。道路の整備もずいぶん進みました。北陸道は全線で4車線となり、磐越道の4車線化も進んでいます。

また、W杯に向けて、日本海沿岸東北自動車道の建設なども進んでいます。

政令指定都市を目指すには、基盤整備が進むだけでなく、都市の風格というものも必要です。市民の皆さんのいろいろな文化活動などが活発になるということも大事だと思います。

緑あふれる田園や豊かな自然は人々にやすらぎと潤いを与えてくれる